広 島 県
商工会地域

中小企業景況調査報告書

第169回

令和4年 7～ 9月期　実績

令和4年10～12月期　予測

令和4年10月

広島県商工会連合会

中小企業景況調査の概要

1. **調査趣旨**	この調査は、中小企業の景気動向を総合的に把握するため、全国の商工会、商工会議所、中小企業団体中央会の3団体管内の企業約19,000企業を対象に四半期ごとに実施されている。調査結果は（独）中小企業基盤整備機構で集約・分析・公表され、中小企業施策立案等の基礎資料として活かされるものである。 広島県商工会連合会では、県内商工会地域の最新景況データを解析、報告書に取りまとめ、商工会の経営改善普及事業が効果的に実施されることを目的として、この報告書を公表する。
2. **調査対象**	（対象地区） 県内14商工会 祇園町、江田島市、呉広域、佐伯、安芸津町、広島県央、 三原臨空、大崎上島町、沼隈内海、福山北、福山あしな、神石高原、 三次広域、備北 （対象企業） 231社 製造業46　建設業48　小売業71　サービス業66
3. **調査方法**	経営指導員による訪問面接調査
4. **調査期間**	令和4年7月～9月期実績、及び令和4年10月～12月期見通し
5. **調査時点**	令和4年9月1日

6. DIとは

Diffusion Index （景気動向指数）の略。

各調査項目について、増加（好転）企業割合から、減少（悪化）企業割合を差し引いた値を示し、「変化の動向」を把握する。

DIがプラス（＋）なら・・・・・・・・・・強気（楽観）、上昇機運

DIがマイナス（－）なら・・・・・・・・弱気（悲観）、低下機運

例えば、売上高で回答割合が、増加50%、不変30%、減少20%の場合、DI＝50－20＝30となり、全体としての経営者の強気（楽観）度合いを表している。

7. 表記基準

変化の動向（改善、悪化など）を解説する場合に用いた表記基準は次のとおり。

「横ばい」　0を基準に±2ポイント未満

「小幅、やや」　0を基準に±2～8ポイント未満

「大幅、大きく」　0を基準に±8ポイント以上

8. その他

この集計値は、全国商工会連合会が提供する全国集計を基に、広島県商工会連合会の集計書式に収めて編集したものである。

（参考） 全国及び広島県内の経済動向について、その他機関による調査資料

■ （独）中小企業基盤整備機構 （3団体を含む全国版報告書）

https://www.smrj.go.jp/research_case/research/survey/index.html

■ 中国財務局 （中国地方の経済動向）

https://www.chugoku.meti.go.jp/stat/keiki/index.html

■ 広島県 （広島県経済の動向）

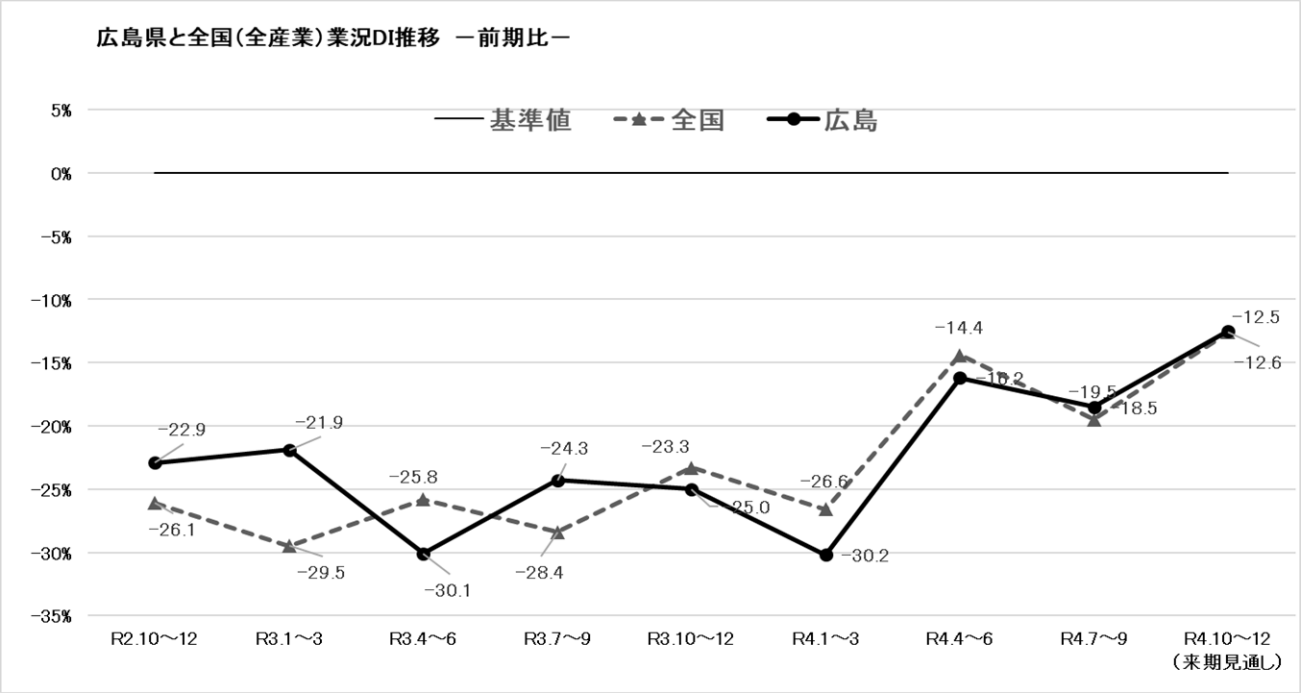
https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/273/1244079054510.html

産業全体の概況

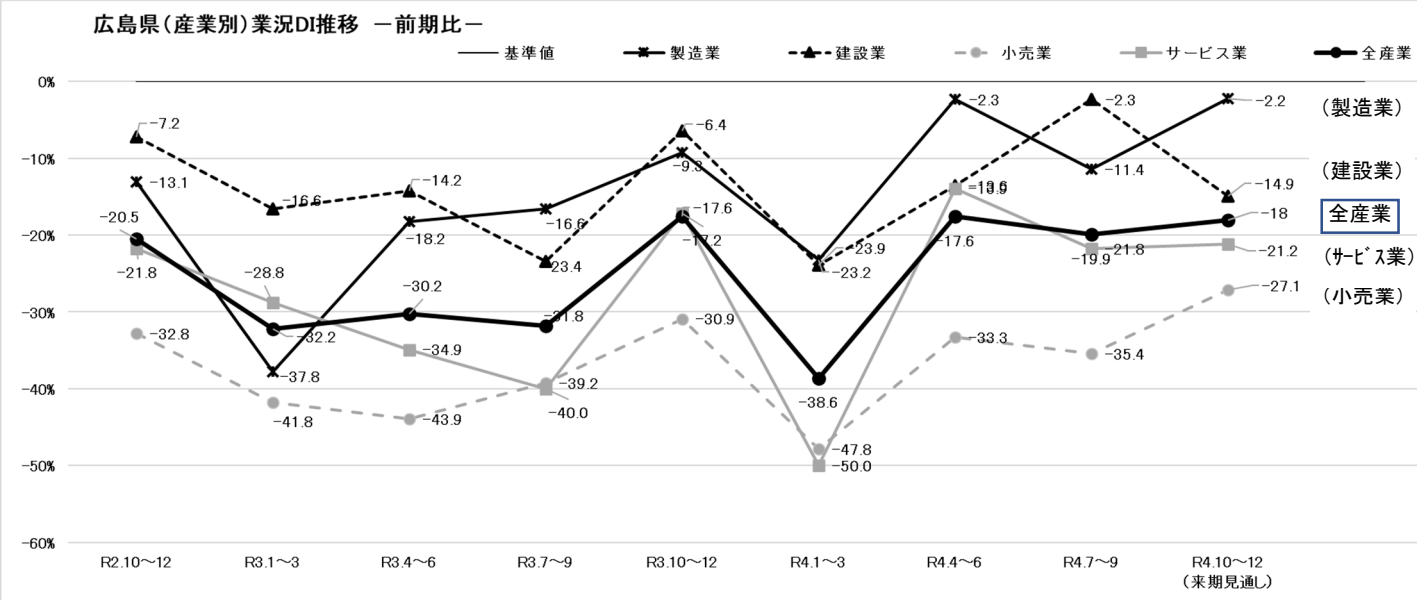
1.ポイント　※（独）中小企業基盤整備機構「第169回中 小企業景況調査（2022年7-9月期）のポイント」より

- 中小企業の業況判断DIは、2期ぶりに低下
- 全産業の原材料・商品仕入単価DIは過去最高値を記録
- 小売業とサービス業で価格転嫁に遅れ

2.広島県と全国（全産業）　※商工会、商工会議所、中小企業団体中央会の3団体データを含む。



3.広島県（産業別）　※商工会地域のみ



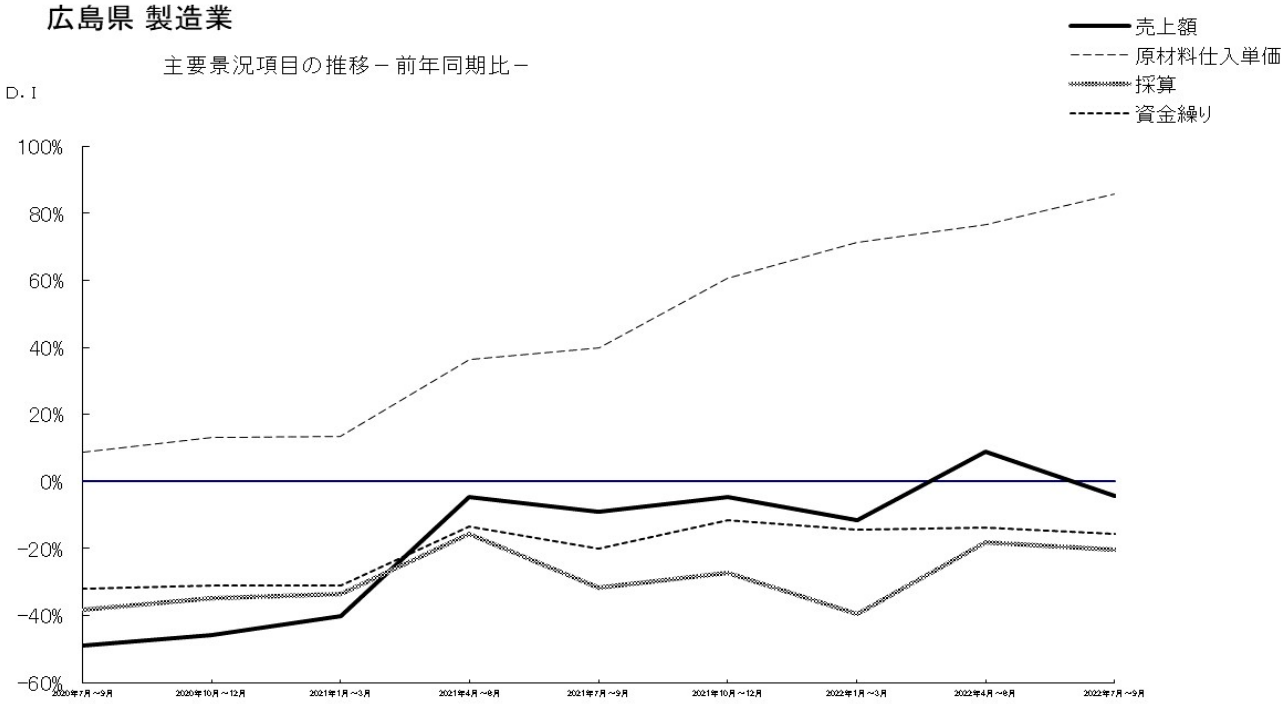
製 造 業（商工会地域）

1.主要景況項目の推移　-前年同期比-

製造業　DI　　（前期）　　（今期）　　（来期見通し）

主要項目	R4.4～6	R4.7～9	前期との比較	R4.10～12	今期との比較
売　上　額	8.9	−4.4	↘	4.4	↗
原材料仕入単価	76.7	85.7	↗	71.4	↘
採　算	−18.2	−20.4	↘	−13.6	↗
資金繰り	−13.7	−15.5	→	−6.7	↗

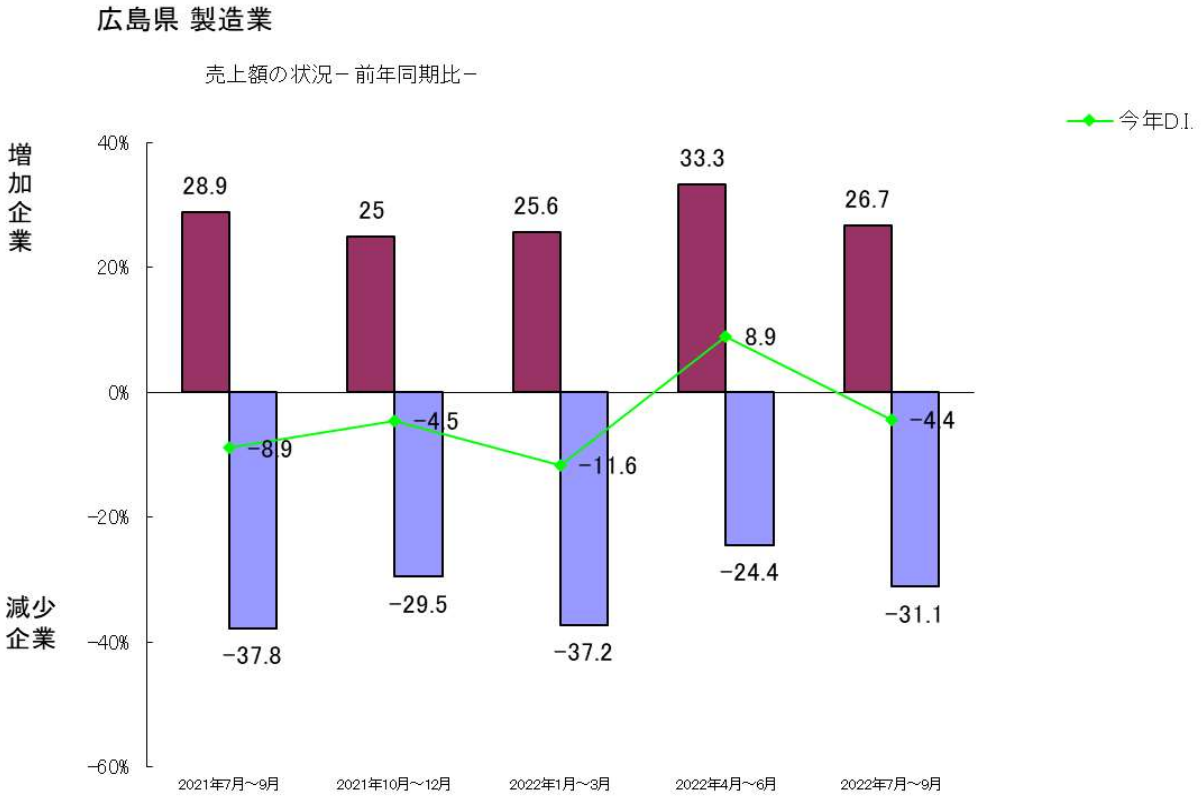
広島県 製造業



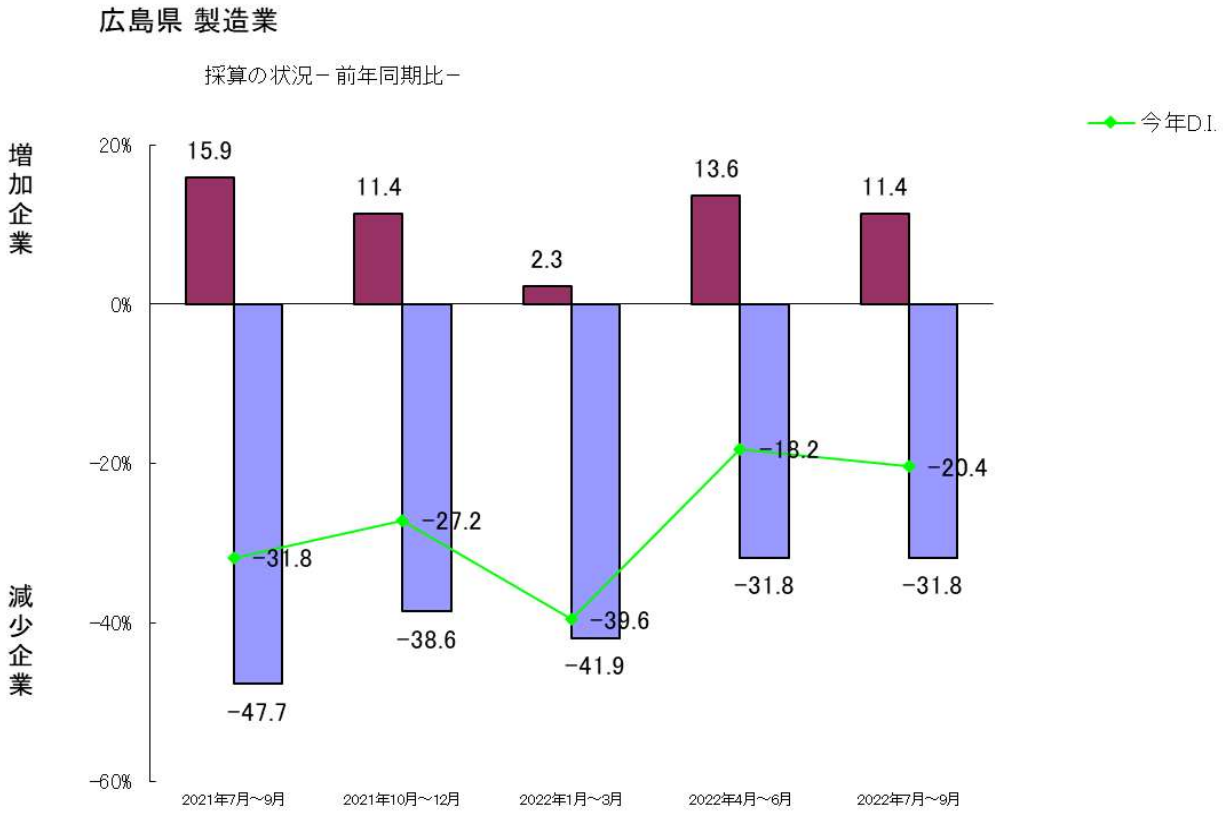
・・・・ 企業のコメント ・・・・

製 造 業（商工会地域）

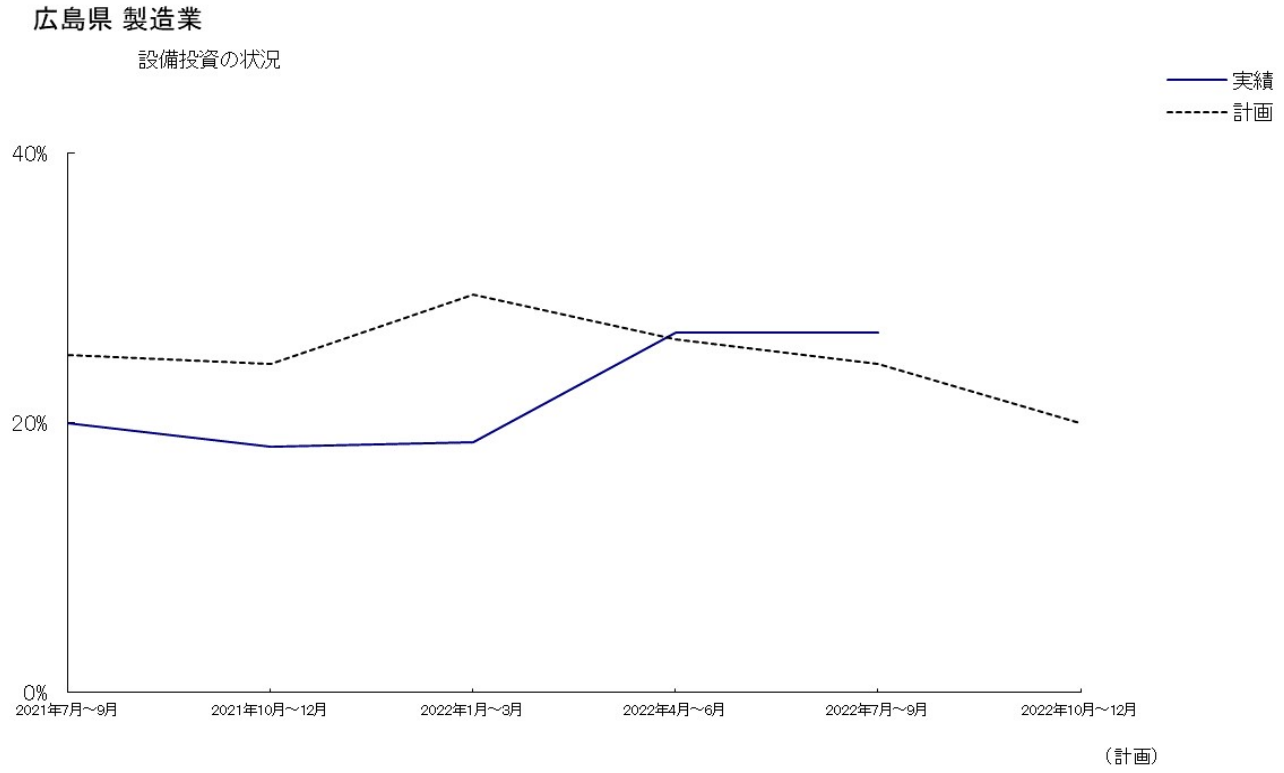
2.売上額（加工額） -前年同期比-



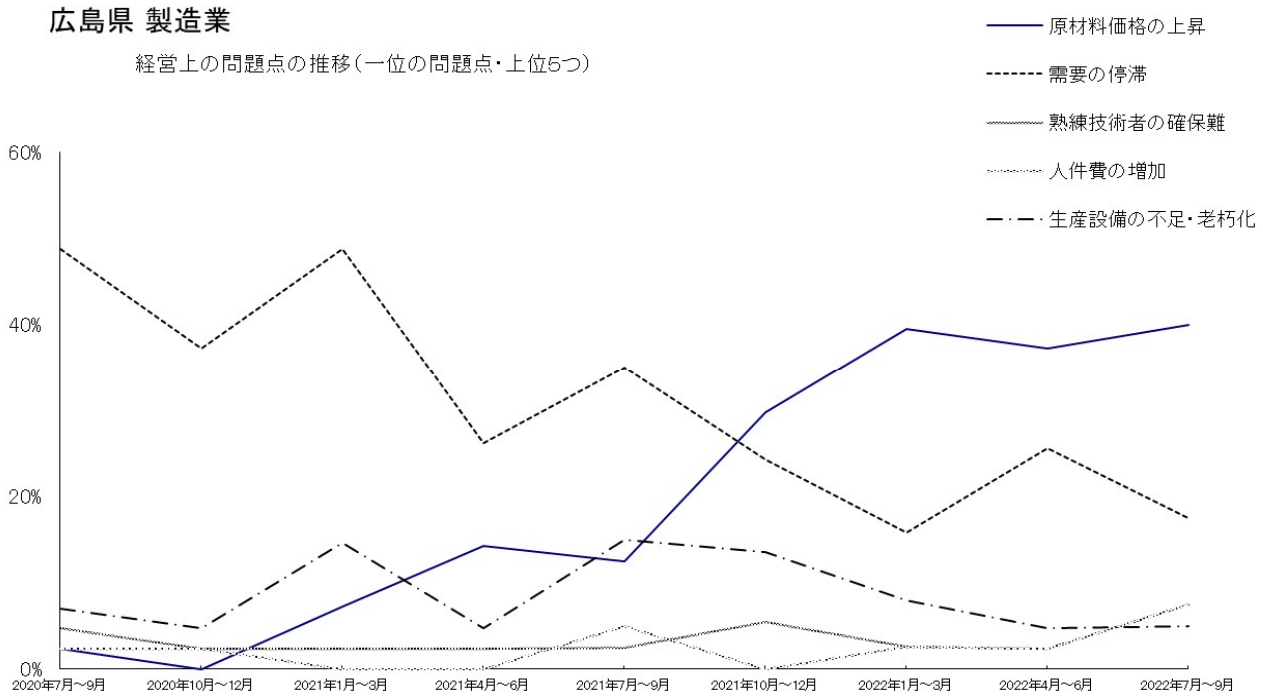
3.採算（経常利益） -前年同期比-



4.設備投資の状況



5.経営上の問題点 （1位の問題点・上位5つの推移）

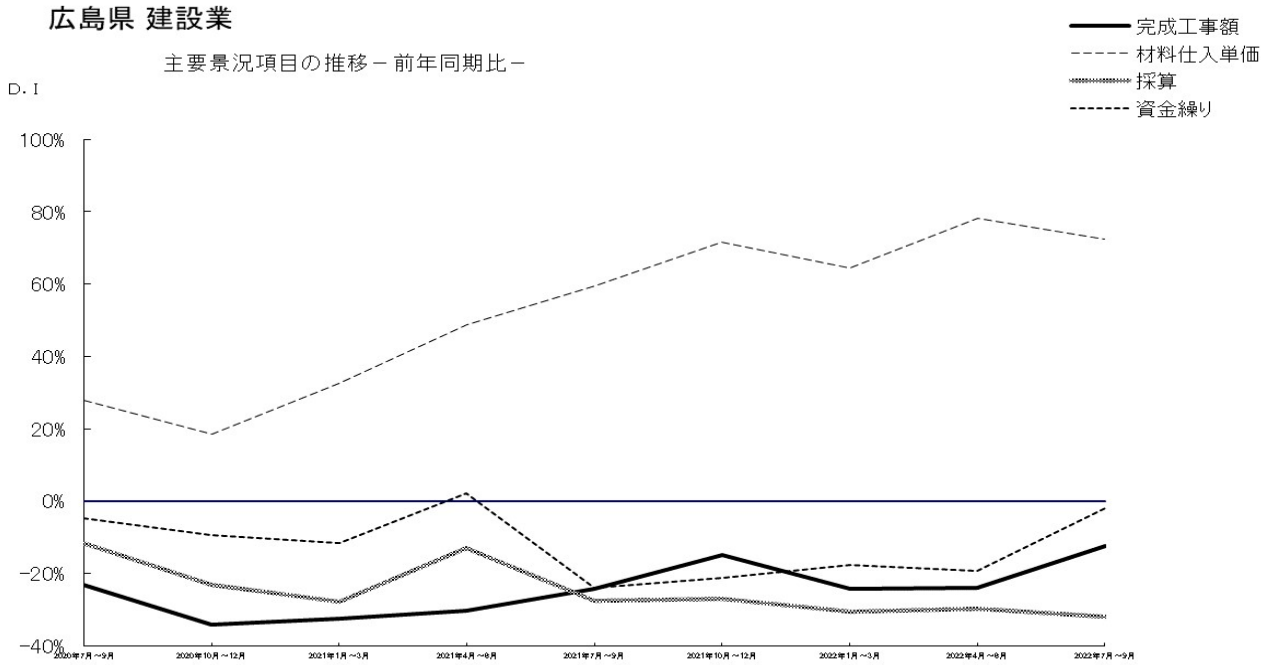


建 設 業（商工会地域）

1.主要景況項目の推移 -前年同期比-

建設業 DI　（前期）　（今期）　（来期見通し）

主要項目	R4.4～6	R4.7～9	前期との比較	R4.10～12	今期との比較
売上額（完成工事額）	−24.0	−12.5	↗	−20.8	↘
材料仕入単価	78.2	72.3	↘	61.7	↘
採算	−29.7	−31.9	↘	−14.9	↗
資金繰り	−19.2	−2.1	↗	−8.3	↘

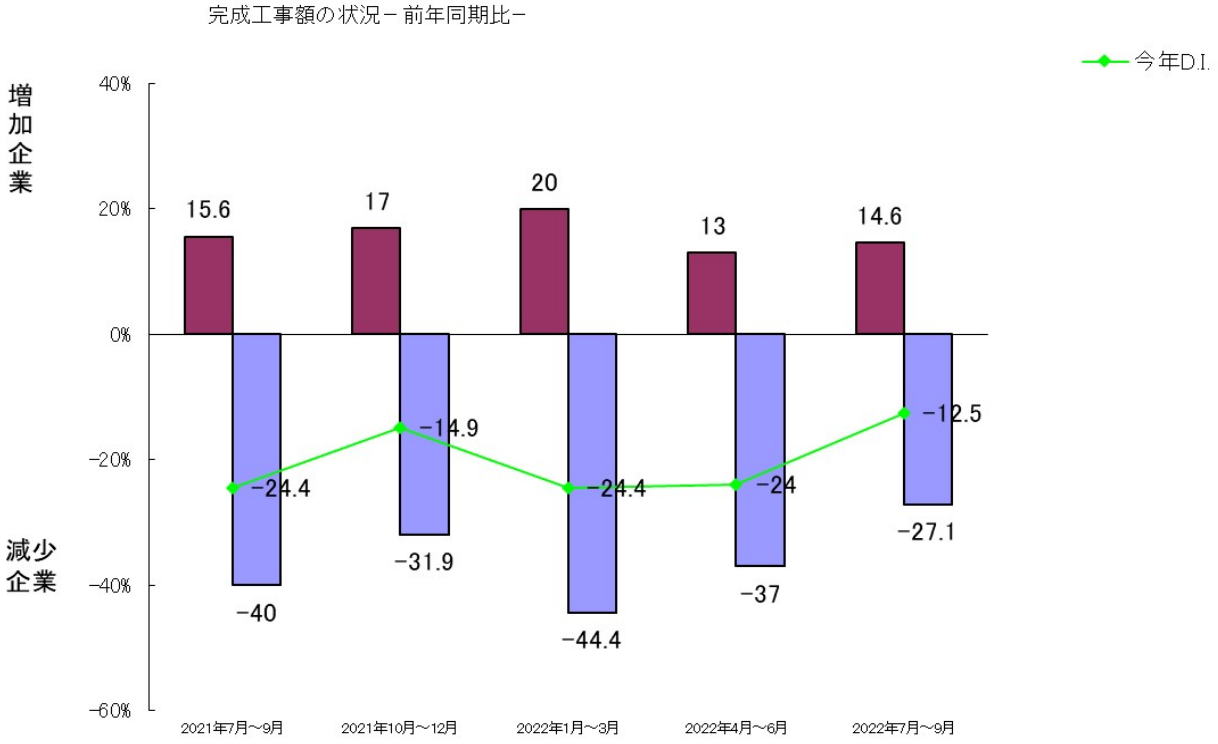


**・・・・ 企業のコメント ・・・・

建 設 業（商工会地域）

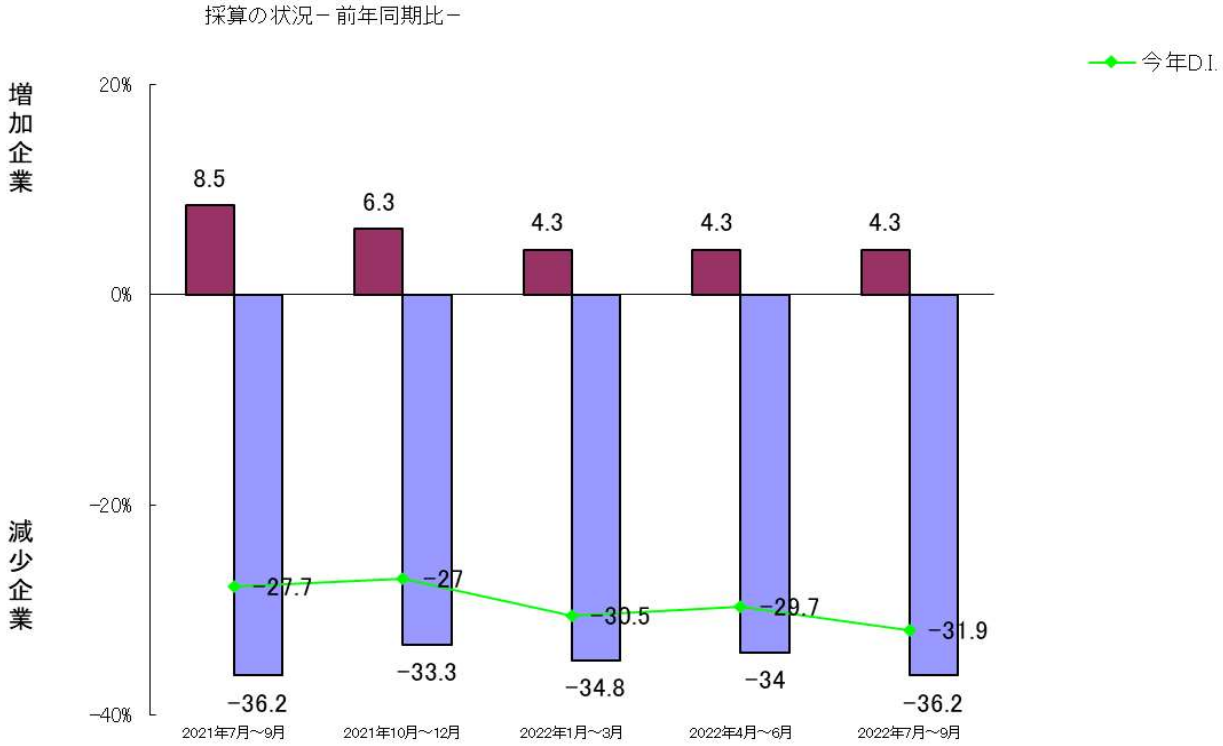
2.売上額（完成工事額） -前年同期比-

広島県 建設業

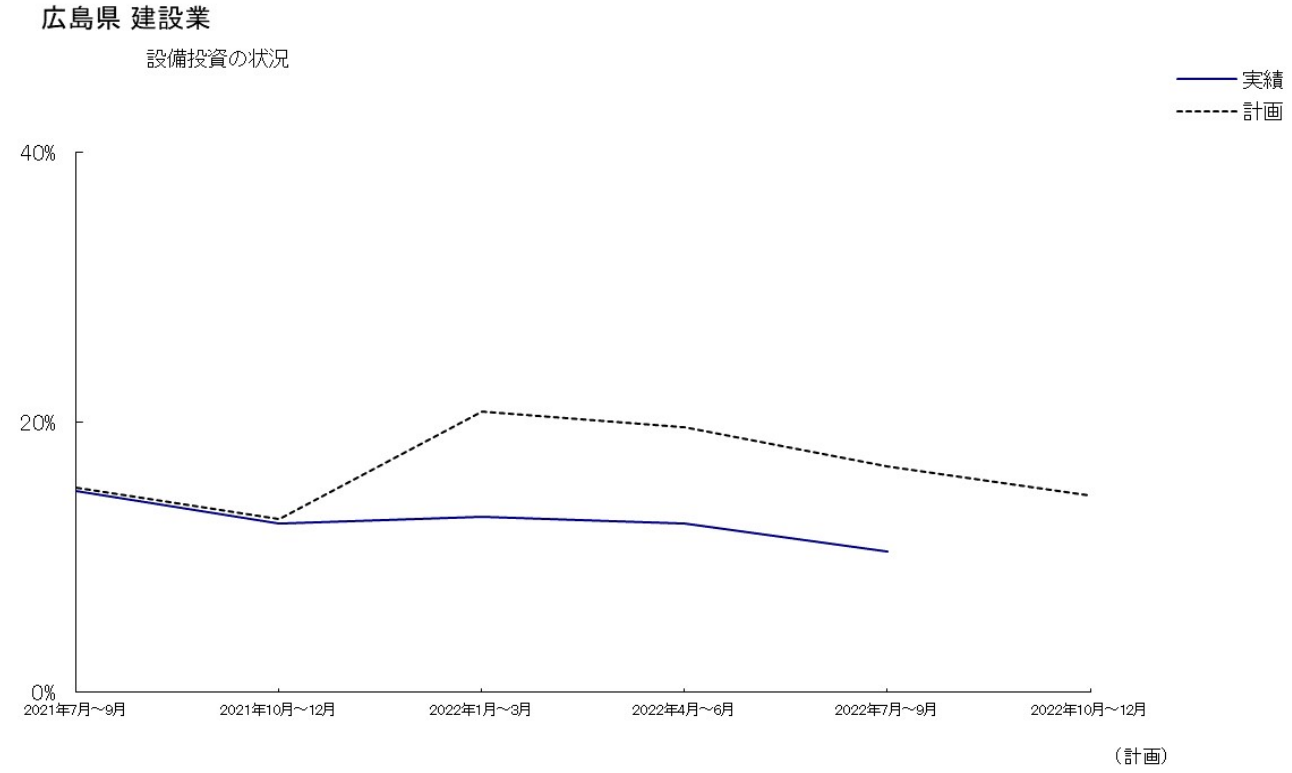


3.採算（経常利益） -前年同期比-

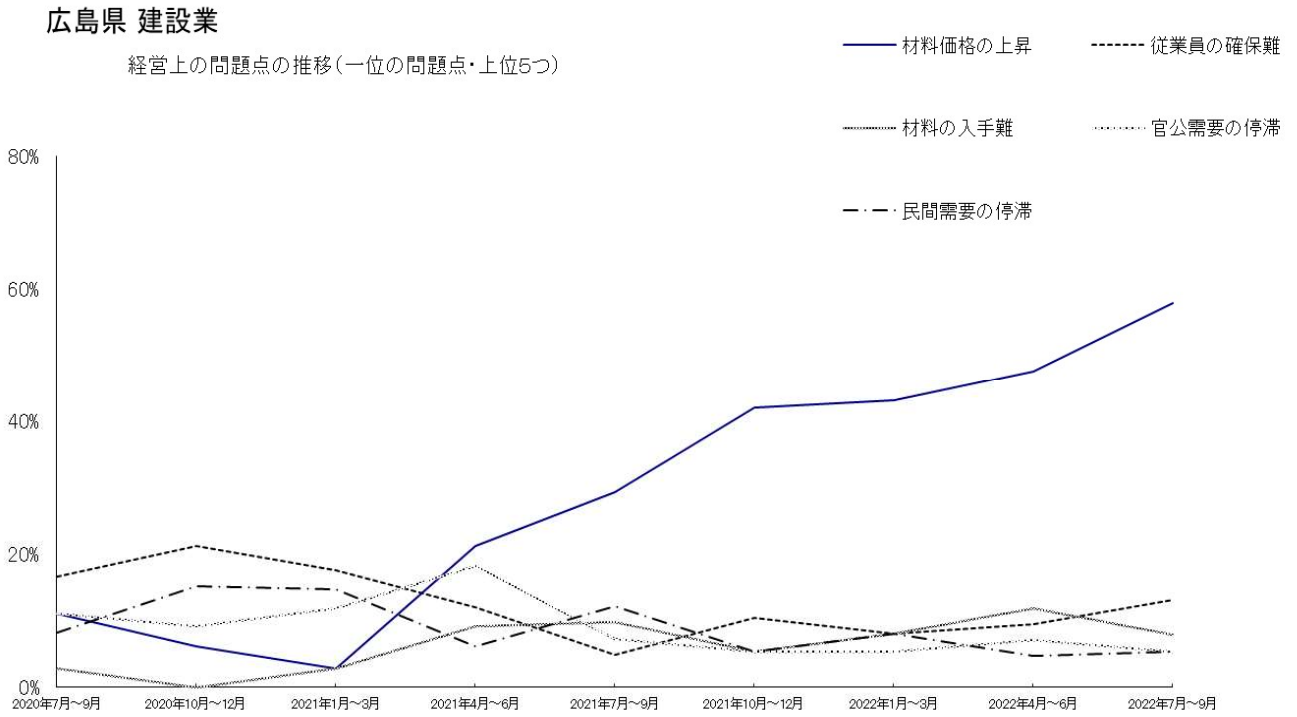
広島県 建設業



4.設備投資の状況



5.経営上の問題点 （1位の問題点・上位5つの推移）

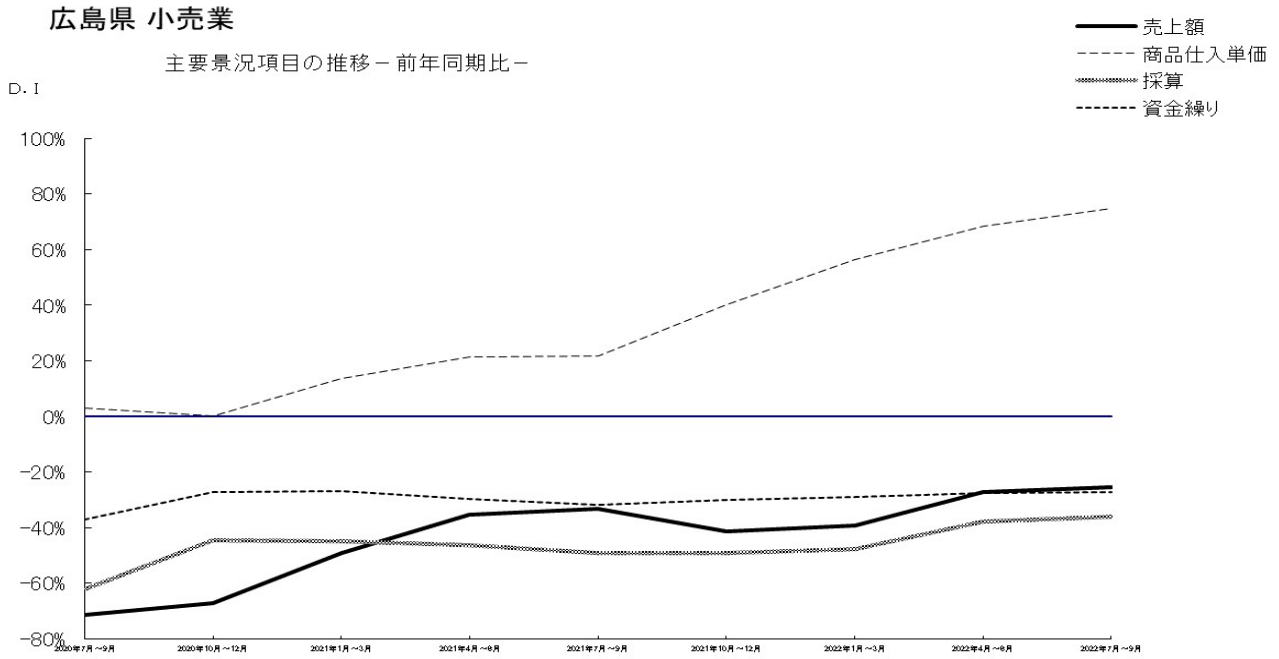


小 売 業（商工会地域）

1.主要景況項目の推移 -前年同期比-

小売業 DI

主要項目	（前期） R4.4～6	（今期） R4.7～9	前期との比較	（来期見通し） R4.10～12	今期との比較
売上額	−27.2	−25.4	→	−37.1	↘
商品仕入単価	68.6	74.7	↗	65.7	↘
採算	−37.7	−36.2	→	−31.9	↗
資金繰り	−27.5	−27.1	→	−27.5	→

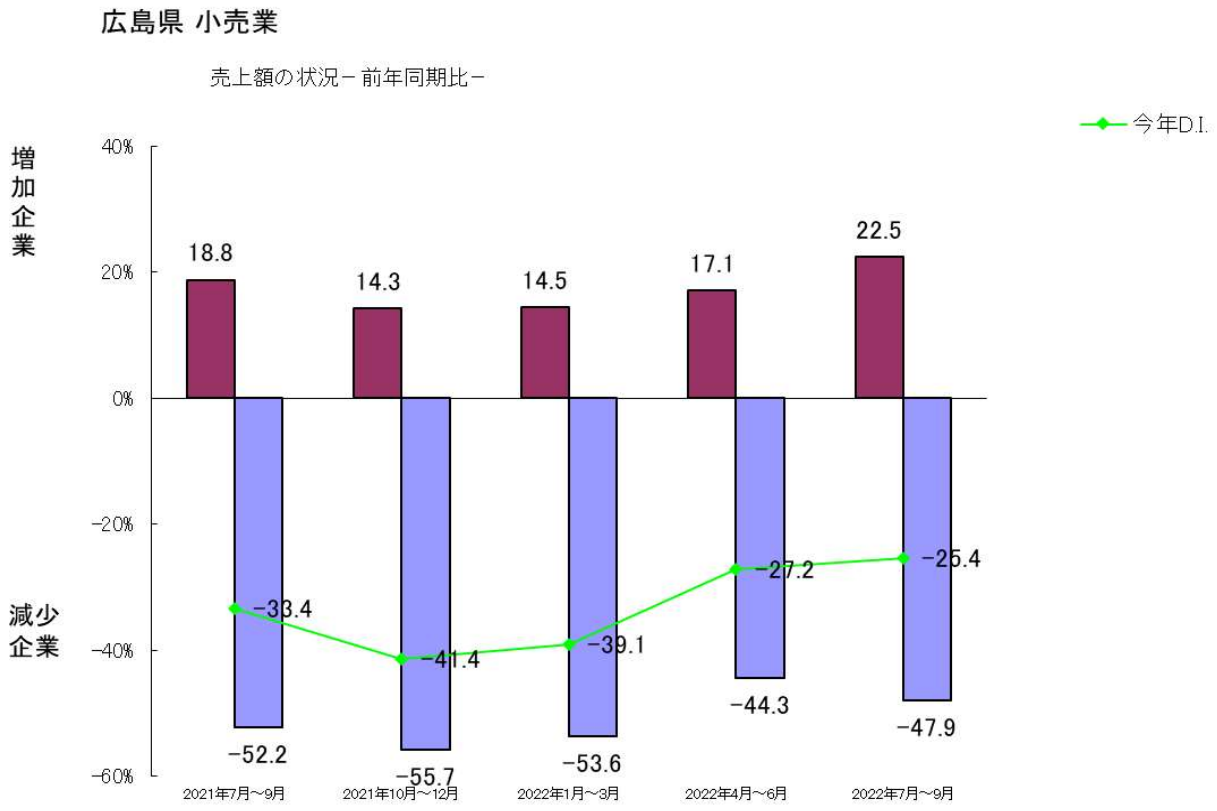


企業のコメント

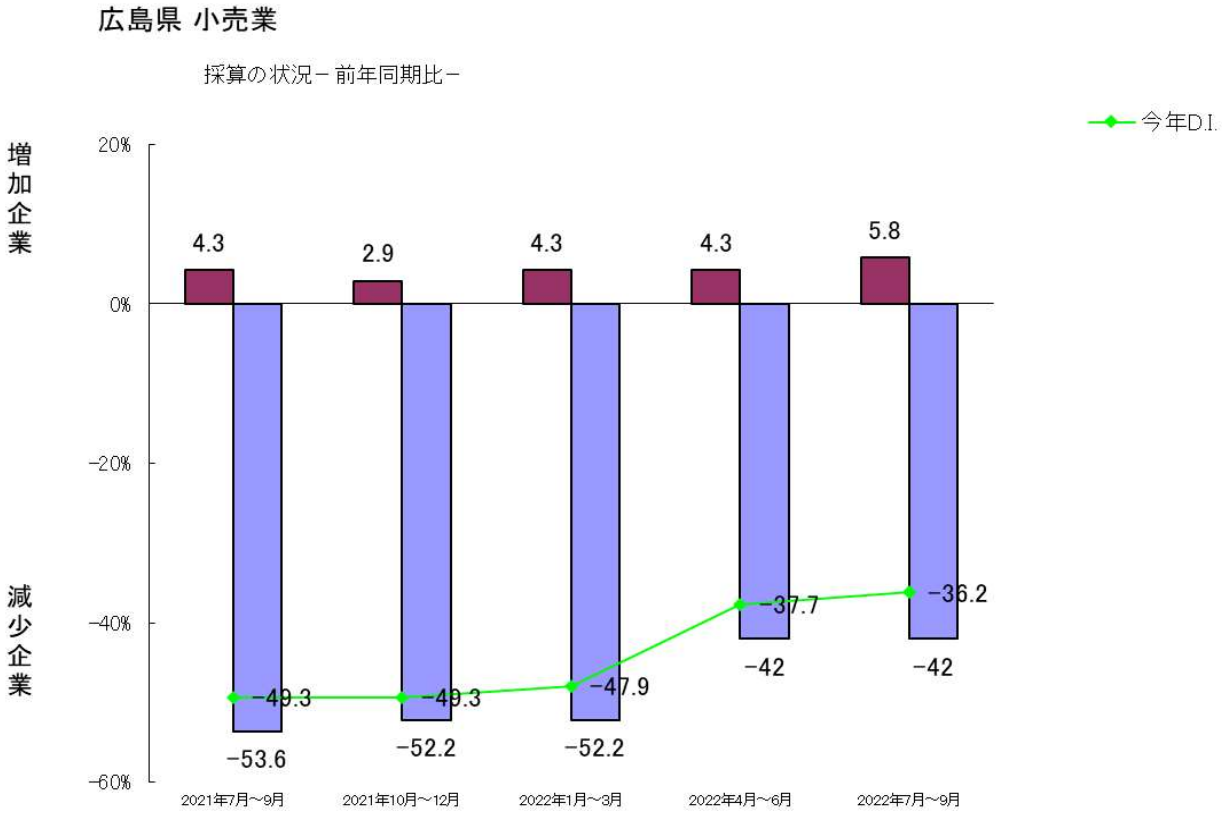
- 需要の停滞が引き続き影響している。国の補助金が入っているうちは良いが、止まった時を想定すると心配である。今のうちに体制強化と資金の確保をしておかなければならない状況です。
- 現在一番心配しているのは物価の上昇である。電気代の急上昇による固定費の増加、商品の値上がりによる仕入れ単価の上昇。またそれによる需要の停滞がより鮮明になるのではと心配する。
- 仕入単価は、ここ10年で1割～2割上昇しているのに対して、販売価格は据え置きのままになっているものが多いので利益率がどんどん悪くなっている。
- コロナ状況悪化の中で客数減少傾向が続くと感じている。仕入れ単価も徐々に上がっている。地域の各種イベントも自粛気味で全体的に需要の冷え込みが続くと予想している。事業者間取引も停滞気味。
- 業況は不変であるが、工事材料等（商品）仕入単価上昇また送料手数料付が多くなった。また振込手数料も殆どの業者が自己負担になる。年間経費増加になる。他の問題点も見直し改善する必要がある。
- 度重なる原材料や包装資材など仕入価格の高騰により7月より値上げを行い、また、経営努力として商品の品質改善と包装の工夫で一日当たりの売上数字は上昇。しかし、まだまだ続く仕入価格の高騰は脅威です。

小 売 業（商工会地域）

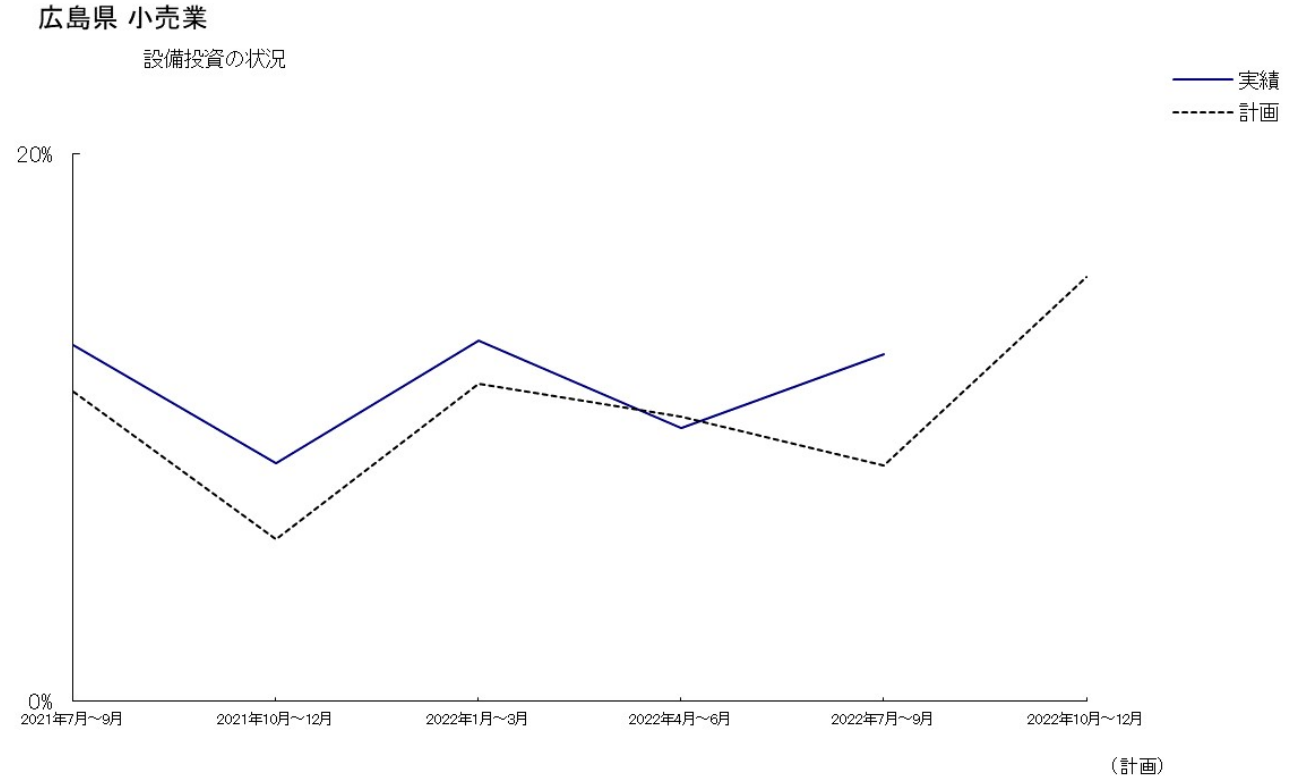
2.売上額　-前年同期比-



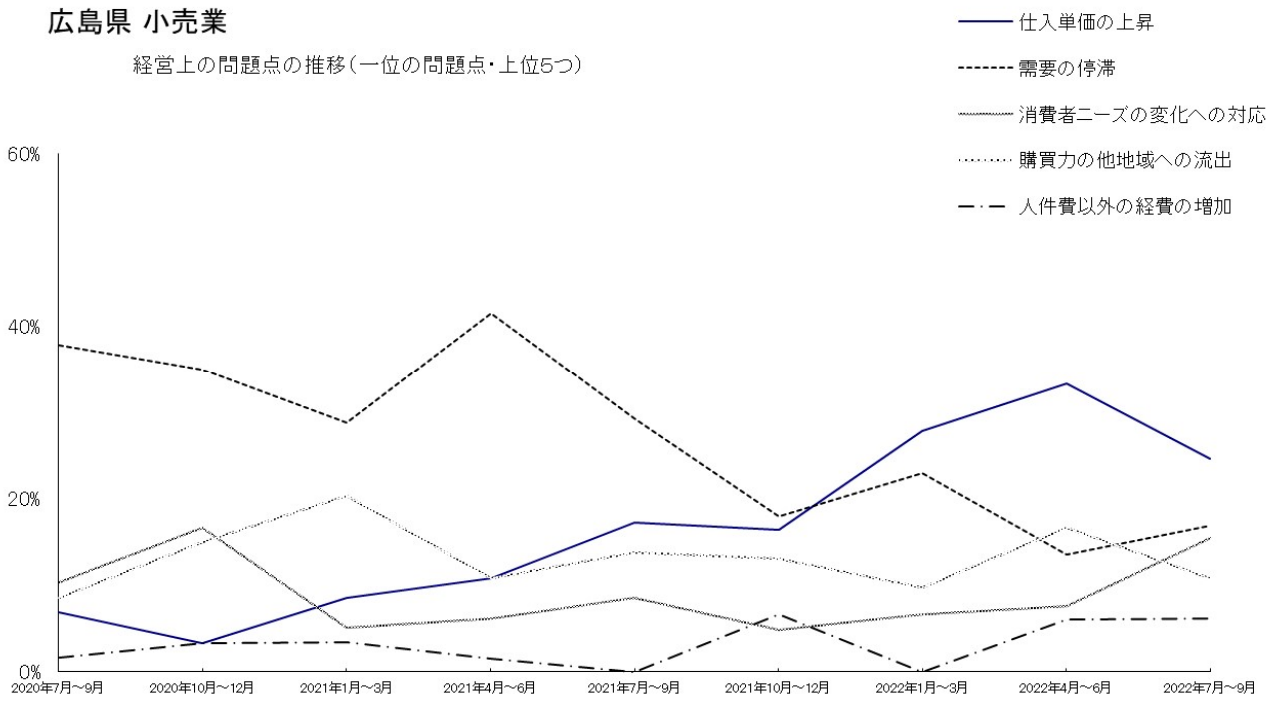
3.採算（経常利益）　-前年同期比-



4.設備投資の状況



5.経営上の問題点 （1位の問題点・上位5つの推移）



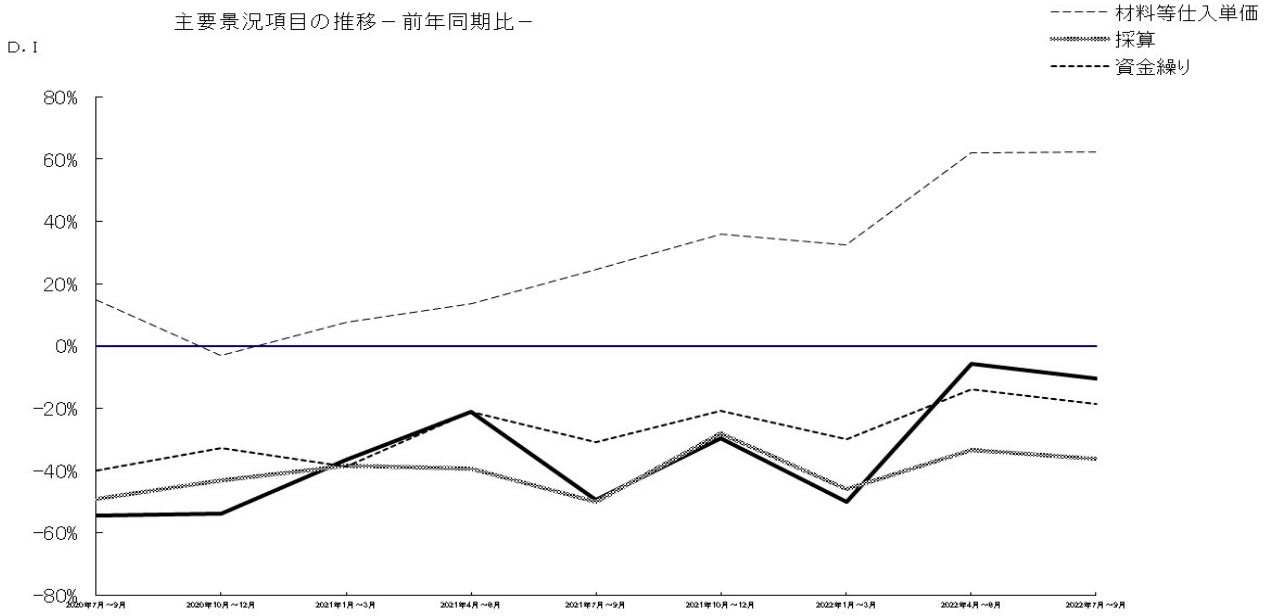
サ ー ビ ス 業（商工会地域）

1.主要景況項目の推移 -前年同期比-

サービス業 DI （前期） （今期） （来期見通し）

主要項目	R4.4～6	R4.7～9	前期との比較	R4.10～12	今期との比較
売　上　額	−5.9	−10.4	↘	−20.9	↘
材料等仕入単価	62.1	62.2	→	56.1	↘
採　算	−33.3	−36.3	↘	−41.0	↘
資　金　繰　り	−13.8	−18.7	↘	−21.9	↘

広島県 サービス業



企業のコメント

・新型コロナウイルス感染症の規制緩和により人の動きも活発化してきた。反面、三度目のコロナ禍のお盆休暇、感染対策をしながらの移動。しかし中々通常の様には売上も伸びず、苦心の日々である。

・従業員の確保難がずっと続いている。

・昨年は8月末から35日間非常事態宣言でテイクアウト限定で営業した。今年はそれはないが1万品目以上の値上げが実施され、夏にはコロナ第7波から行動の自粛と消費の節約が進み、売上は大きく伸びそうにない。

・コロナ禍で感染者が増加する中で予約キャンセルや利用控えが相次いでいる。水道光熱費に係るエネルギー高騰が経営圧迫に大きく影響している。

・設備投資の話をする前に人材を確保しなければならない為、新たな設備投資は難しいと思われる。

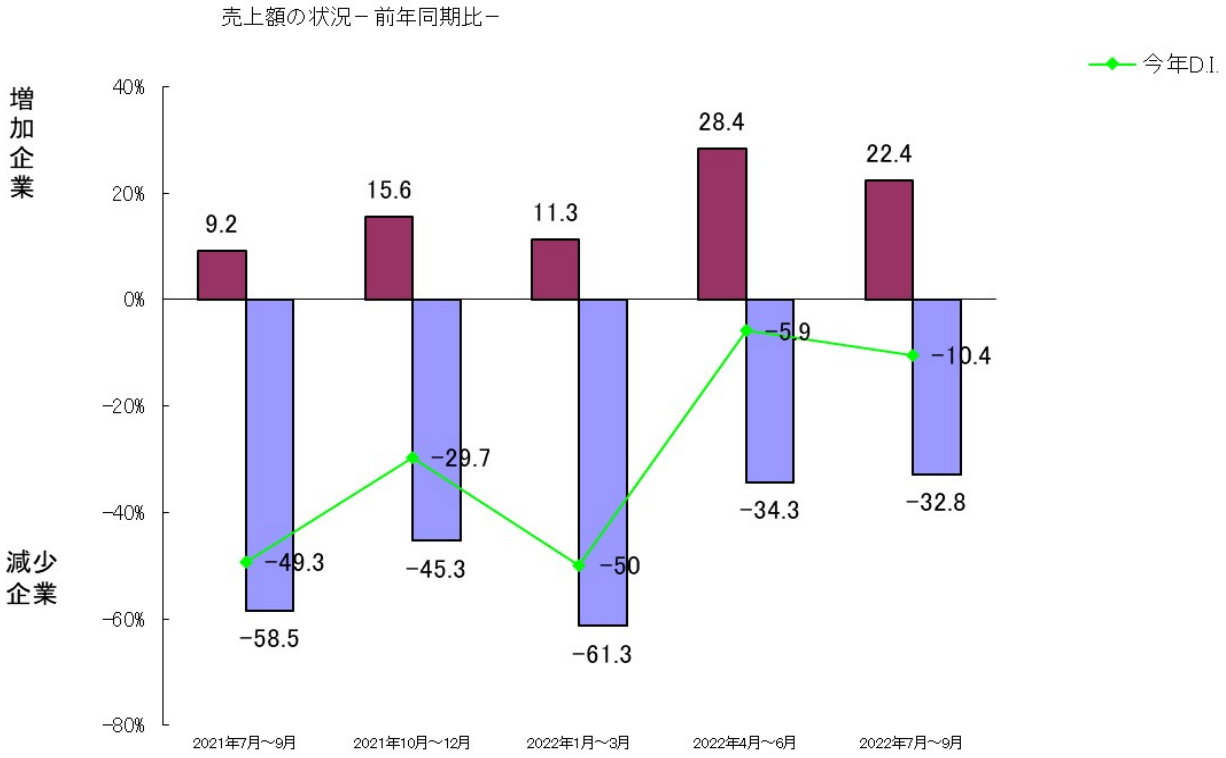
・コロナ当初よりは少し持ち直してきているように感じるが、3年間の売上低下の影響が今も続いている。

・コロナによる先行き不透明感が続いている。物価は上昇しているが、なかなか価格に反映できない。

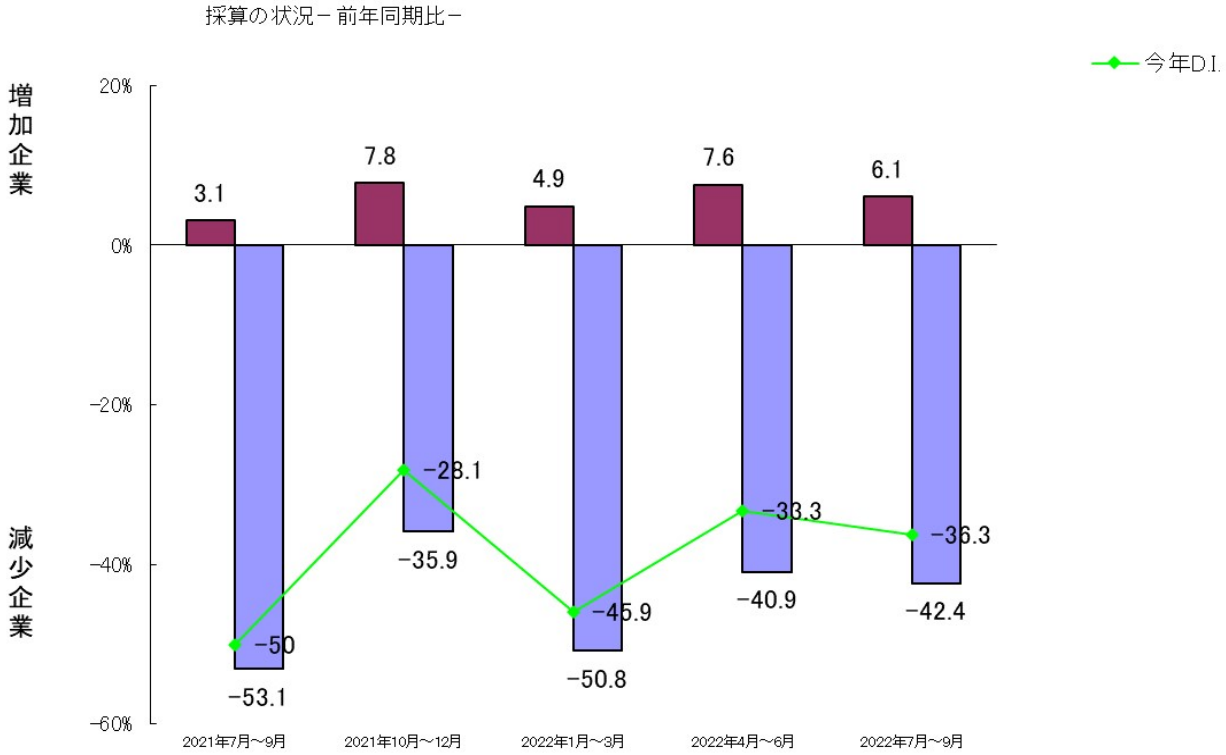
サ ー ビ ス 業（商工会地域）

2.売上額（加工額） -前年同期比-

広島県 サービス業

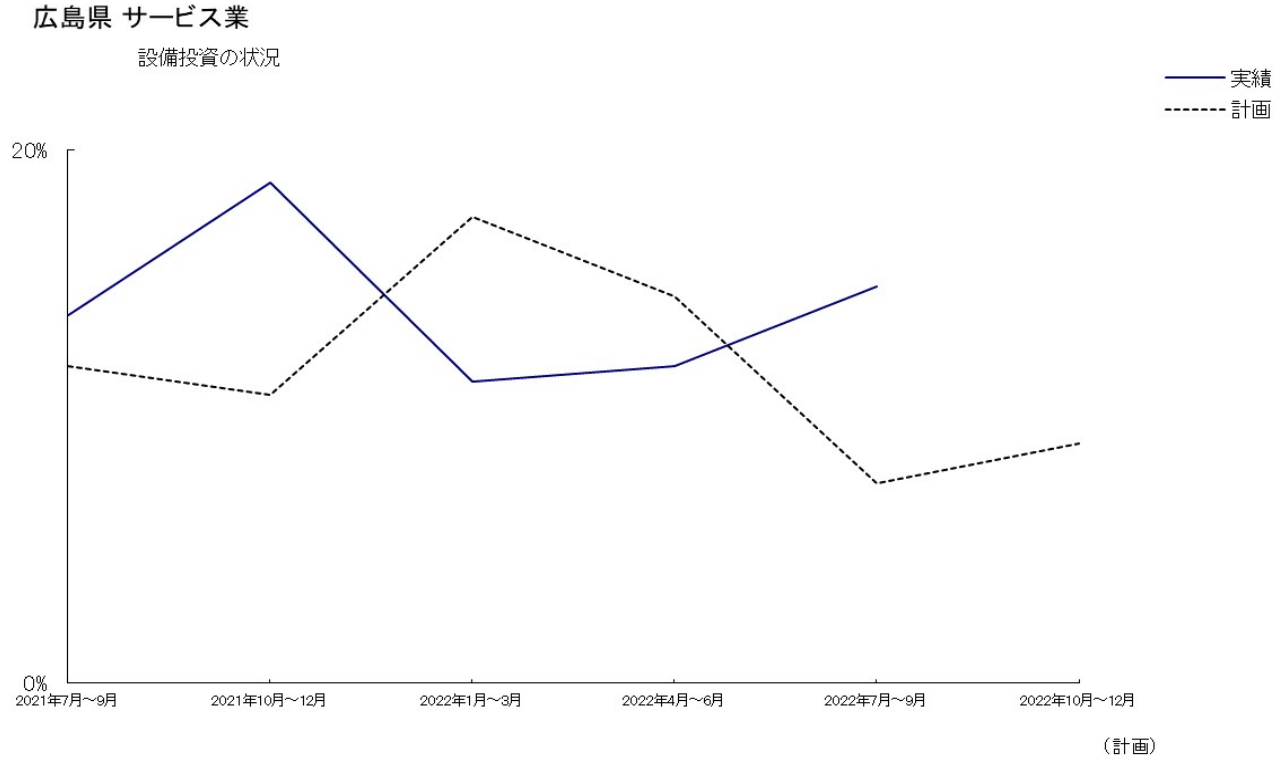
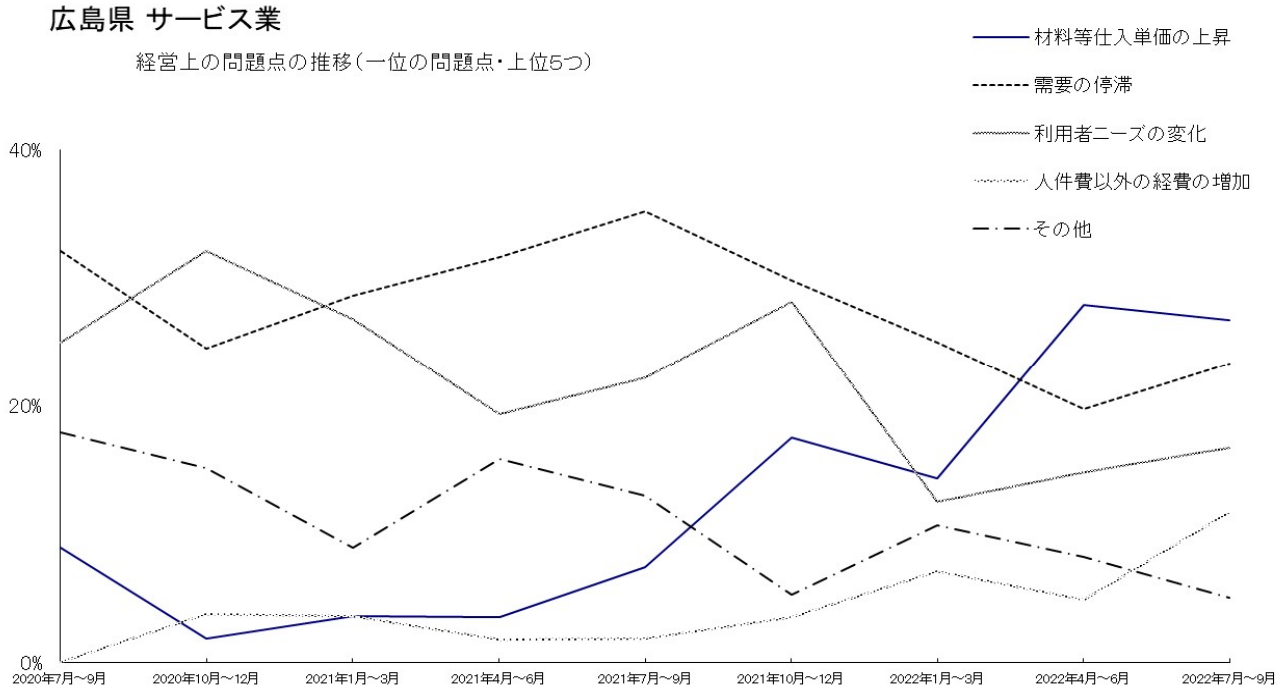


広島県 サービス業



サ ー ビ ス 業（商工会地域）

4.設備投資の状況



5.経営上の問題点 （1位の問題点・上位5つの推移）